



有機農業の匠講座



匠による自家製有機質肥料(ぼかし)の説明

環境負荷低減に向けて、新たな取り組みが始まっています！



チャガラシを利用した農薬に頼らない土壌燻蒸方法(セルリー圃場)



蔵王かぼちゃの有機栽培に向けた取り組み

引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

今後、高温や様々な気象の変動に負けない産地づくりに取り組み、有機農業をはじめとする、人と環境に優しい持続可能な農業への支援を継続してまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年、さくらんぼにおける収穫期の高温により障害果が発生するなど、作柄が大幅に低下しました。また、七月二十五日からの大雨の影響で農作物にも甚大な被害が出ました。令和七年が、気象災害のない実り豊かな年となることを心より願っております。

明けましておめでとございませう。

普及推進主幹 赤間 吉広

未来へ！持続可能な農業を





令和6年度の普及活動



作物 米の高品質安定生産を支援します!

気候変動に対応した米づくりのカギは「基本技術の励行」「初期莖数の確保」「適期作業の徹底」です。

当課では現地研修会や圃場巡回を通してどのような天候にも負けない産地づくりを支援していきます。



つや姫圃場巡回

果樹 さくらんぼの高品質安定生産の推進

さくらんぼは、前年の高温による双子果や、収穫期の高温による過熟果が多く発生するなど、厳しい気象条件が作柄に大きく影響することから、高品質果実の生産のため、摘果などきめ細かな指導を行いました。今後も気候変動に対応した技術対策を推進します。



さくらんぼ摘果講習会

野菜 きゅうりの安定生産に向けた現地実証と普及の促進

管内最大の生産額を誇る野菜品目であるきゅうりの産地を維持するため、夏期の高温対策技術の検証や、センチュウ害軽減を目的とした環境負荷の少ない土壌消毒法の実証などを行い、安定生産に向けた取組みを推進しています。



高温対策技術(外気導入)の検証

葉温への影響の調査

花き 「啓翁桜」の省力・高品質安定生産の推進

「啓翁桜」栽培の省力化と安定生産を目指し、環状剥皮とほぼ同等の枝伸長抑制効果があり、かつ省力化が図られる植物成長調整剤の実証に取り組みました。

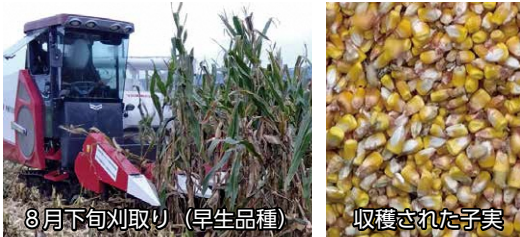
今後、開花に影響がないか調査し、情報提供を行う予定です。普及課では引き続き、「啓翁桜」の高品質安定生産を推進します。



植物成長調整剤の散布(4月)

畜産 耕畜連携による地元産飼料の生産・利用支援

天童市では、耕畜連携による子実トウモロコシ生産・利用が継続して行われています。令和6年は、早生品種を導入して、水稻収穫前に刈り取る生産体系での栽培を支援し、畜産における地元産飼料の利用を推進しています。



8月下旬刈取り(早生品種)

収穫された子実

農村資源活用 消費者ニーズに対応した農産加工品の開発

地域の特色を生かした商品の需要が益々高まる中、当課では、消費者にとって魅力的な商品開発に向け、さくらんぼやぶどうなどの果実乾燥技術の普及や、農産物の冷凍技術に関する研修会を開催するなど、農家による農産加工の取組みを支援しています。

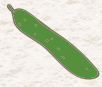


加工技術研修会の様子

農薬は適正に使用しましょう!

★農薬のラベルは必ずよく読み、定められた使用方法で!

★生産の履歴の記帳、農薬飛散の防止、防除器具の洗浄を徹底!



経営・担い手

就農から経営発展・法人化まで伴走支援します!

個別相談や研修を行い、経営課題の抽出から計画策定・実践まで経営発展に向けた取組みを支援しています。また、新規就農者の経営の早期確立に向け、新規就農者ステップアップ塾を開講し、技術習得を支援しています。



新規就農者ステップアップ塾（経営講座）

産地研究室

ミニセルリー「若竹」の安定生産技術を開発中

ミニセルリー「若竹」では、定植後の活着不良や春どり作型での抽苔発生による収量・品質低下が問題となっています。そこで、村山産地研究室では、「若竹」の安定生産に向け、育苗方法や苗質向上技術、春どり作型での抽苔抑制技術の開発に取り組んでいます。



生産者との意見交換

令和6年の特徴的な天候

- 1月～2月: 気温が高く、降雪量が少ない
- 4月: 記録的な高温、多日照。中旬以降は少雨
- 5月: 上旬に大きい寒暖の変動、後半に強風
- 6月: 中旬に高温、多日照、少雨。梅雨入りは遅い(6/23)
※さくらんぼで高温障害果が発生
- 7月: 高温、寡日照、記録的な大雨(7/25)
- 8月～9月: 高温、寡日照で経過、9月は雨の日が多く、9月20日から大雨
※水稲で出穂及び収穫適期が早まる



情報サイト「村山旬の市」

村山地域の旬の農産物、加工品の情報が満載です!「てっぼう町青空市場」の開催情報も掲載しています。



活動紹介

東南村山農業士会

「農業士会」は、各種研修を通じて研鑽を図り、地域農業の振興と農業青年の育成に取り組んでいます。今年度の上半期は優良経営体の視察や首都圏などにおける販売研修、経営継承に関する情報交換などを行いました。



経営継承に関する情報交換（9月）

山形4Hクラブ

管内の農業青年で組織する当会では、会員同士の圃場や先進経営体への視察、東北農村青年会議等研修への参加、直売活動などを行っています。今後も活動を通じて消費者や県内外の農業青年組織と交流し、経営・栽培技術向上を図っていきます。



県内の農業青年組織と合同での圃場視察

てっぼう町青空市場

毎年5月～12月の第1、第3日曜に、村山総合支庁前で行われている朝市です。出店会員16名が自慢の農産物や加工品を持ち寄って販売しており、今年度で24年目を迎えました。ぜひお立ち寄りください。



出店会員の皆さん



販売の様子

農作業事故防止

- ★作業を中断するときは必ずエンジン停止
- ★高所（雨よけハウスの除雪、脚立を使った剪定等）では、無理な体勢で作業しない
- ★作業は複数人で行い、作業の合間にしっかり休憩を

～受賞おめでとうございます～

大高根農場記念山形県農業賞

大築義雅氏(山形市)

山形市菅原で鉢花を主とした周年栽培に取り組んでおられます。これまでトルコギキョウやペニバナの新規作型開発に関係機関と一体となって取り組むとともに、山形県花き生産連絡協議会会長として生産振興や新規栽培者の育成に貢献されました。また、山形市農業委員会会長として、新規就農者の定着や農地利用の最適化活動の推進に寄与されました。



金平芳己氏(天童市)

天童市農協の理事・組合長として、農産物や加工品の安定的な生産・販売を推進し、長年にわたり地域農業の振興及び活性化に取り組まれました。また、「やまがた紅王」の産地化を目指し、生産者・関係機関で構成する「天童市紅王研究会」を立ち上げ、生産振興及びブランド力強化に貢献されました。



山形県ベストアグリ賞・東北農政局長賞

株式会社うばふところ 佐藤和愛氏(上市市)

上市市皆沢地区において、これまで観光果樹園を取り入れた果樹経営を展開してきました。現在は、果樹生産に小玉すいかやせりなどの露地野菜を組み合わせ、周年で生産に集中できる農業に転換して規模を拡大し、地域の雇用創出や農地の維持に貢献されています。



第5回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」 山形のうまいもの食品大賞(山形県知事賞)

のら農園 酒井正樹氏(上市市)

「のら農園のさくらんぼサンド」は、さくらんぼを使用した自家製ドライフルーツやはえぬき米粉を使った商品です。味やストーリー性などが高く評価され、最高賞を受賞しました。



やまがたフラワーフェスティバル2024

農林水産大臣賞(受賞品目:トルコギキョウ)

齋藤道成氏(上市市)

LEDを使った開花調節など新技術を導入しながら、高品質なトルコギキョウを生産しています。若手生産者のリーダーとして活躍されるとともに、県産トルコギキョウの知名度向上に貢献されています。



農林水産省東北農政局長賞(受賞品目:ハイブリッドスターチス)

稲毛 昇氏(上市市)

県内有数の花き生産組合の一つである蔵王花卉生産組合の組合長として、高品質な花きを生産し、産地を牽引しています。受賞作品は枝数が多く、その圧倒的なボリュームが高評価を得ました。



むらやま米フォーラムの開催

近年の高温で推移する栽培環境を踏まえ、気候変動に対応した米づくりへの理解を深める研修会を開催します。ぜひご参加ください!

- ◆ 日時: 令和7年2月4日(火)午後1時～
- ◆ 場所: 山形国際交流プラザ
(山形ビッグウイング)大会議室
- ◆ 問合せ: 農業技術普及課 023-621-8294

NOSAI山形園芸部からのお知らせ

近年多発する自然災害に備えて、果樹共済の樹体共済への加入をお勧めしています。樹体の生命保険であり、財産を守るため、ぜひご加入下さい。

詳しくは、TEL 023-656-8978までご連絡ください。

果樹の 冬季対策 積雪は平年並か多い予想 令和7年産に向けた準備は万全に!

(1) 雪害防止対策

積雪量は平年並か多い予想で、雪害に注意が必要です。雪害防止に向けて早めの対策を行いましょう。

詳しくは [山形県雪対策ハンドブック](#)

[検索](#)

(2) さくらんぼの摘芽は慎重に

昨年は前年の高温の影響で双子果が多く発生しました。今年も双子果の発生とともに、凍霜害も心配されます。摘芽の前に芽の状況を確認し、被害が大きいとみられる場合は例年よりも芽数を多く残すか、摘果で対応しましょう。

(3) 凍霜害防止対策

12～2月の気温は平年並の予想ですが、遅くとも3月下旬までには防霜対策の準備をしましょう。

低温アラートのご利用は [やまがたアグリネット](#)

[検索](#)